

※学科試験における問題の誤りについて

2025（令和7）年12月13日に実施しました2025（令和7）年度京都府・京都市要約筆記者認定試験学科試験において、筆記試験問題の一部に誤りがあったため以下の対応をいたしました。受験者および関係者の皆様にご迷惑をおかけしましたことを心よりお詫び申し上げます。

今後このようなことがないように、再発防止に努めてまいります。

1 誤りがあった設問

2 次の文は、障害者差別解消法について述べています。（ ）にあてはまる言葉の組み合わせが適切なものを下記の中から一つ選びなさい。

23 要約文にあらわれる表現について述べたAおよびBの文について、下記の1～4のうちから正しいものを1つ選びなさい。

2 誤りの状況

2 選択肢3のアルファベットの並びにおいて、EとFが逆となっていた。

23 問題文の記号はAとBであったが、選択肢はアとイと表記していた。

3 誤りが判明した経緯

2025（令和7）年12月13日試験実施中に、受験者より質問があり問題を確認したところ、問題文の不備による出題ミスがあったことが判明した。

4 採点上の対応

問題文は試験中にその場で訂正し、説明をした。また、採点は全員を正答とした。

5 今後の対応

今回の誤りが発生した原因を分析し、事前点検をさらに強化し再発防止に努める。